

# つばき

— 第 7 号 —



松江商工会議所婦人会

松江市の花・椿

古くから松江の人々は椿を愛してきた。城山の裏道に今なお椿谷の名が残り寒中にもその清楚でカレンな花たちは道ゆく人々の心を洗ってくれる。



# 21世紀の扉を開く

## 第29回全国商工会議



松江商工会議所婦人会  
会長 山 尾 和 子

昨年5月松江大会実行委員会総決起大会で正式スタートを切って以来早や10カ月が経ち不安と期待が入りまじった気持ちはかくしきれず改めてことの重大さと責任の重さを感じております。

この間実行委員長を中心として、全国からお越しの3,000名をどのように迎え入れ、そして満足してお帰り頂くのか大会運営等について再三に亘り検討して頂き、ようやくこのたび松江方式が全商婦連理事会において決議されました。

これも偏に松江商工会議所事務局並びにスタッフの皆様のご尽力の賜と深く感謝申し上げます次第でございます。

いよいよ会員一同が結束する日が迫って参りました。

まだまだ皆様のお知恵を仰ぎ、ご協議申し上げねばならないことばかりでございますが、親会をはじめ鳥根県及び松江市のご支援ご指導のもとで一つ一つ、目標に向かって前進するのみでございます。

大会当日まであと7カ月、会員の皆様とともに全員揃って全国からお越しの皆様方を暖かくお迎えし、地域の活性化に少しでもお力添えができるよう全力を傾注し、必ずや大成功に終わり皆様と共に手をたずさえて悔いのなき感動をわかちあいたいと思っております。

どうかよろしくお願い申し上げます。

### シンボルマークデザイン意図

出雲神話によれば、スサノオノミコトは、八岐大蛇（ヤマタノオロチ）を退治し、約束どおり奇稲田姫（クシイナタヒメ）をめでとった。

松江市佐草町にある八重垣神社は、この二人を祭神とし、現在、縁結びの神社として有名である。

このシンボルマークは、鳥根を代表する女神、奇稲田姫をモチーフに製作をしたものである。



# 神在月の女神の集いinまつえ

## 所婦人会連合会総会（松江大会）

### ～7カ月後にせまる松江大会～

#### 開催概要（松江方式）が決定

去る1月22日全国商工会議所婦人会連合会理事会が日本商工会議所で開催され、第29回松江大会開催概要等が決議された。

松江大会実行委員会スタッフを中心に3,000名の大会受け入れのための会場等についての協議を重ね、過去28回の開催方法を一部変更しての開催要請をさせて頂きましたと

ころ、理事会において正式に承認されたものです。

変更内容は、総会後の懇親会を前夜祭として、総会前日に開催することとし、前日に開催の会長会議後の夕食会を省略させて頂きました。

開催概要は下記のとおりです。

- 名 称 第29回全国商工会議所婦人会連合会総会（松江大会）
- 開催期日 平成9年11月11日(火)～12日(水)
- 開催場所 島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）

- 主 催 全国商工会議所婦人会連合会
- 主 管 松江商工会議所婦人会
- 参 加 者 約3,000名

へスケジュール

1日目 平成9年11月11日(火)			2日目 平成9年11月12日(水)		
常任理事会	時 間 場 所 参 加 者	13:00～14:00 602特別会議室 約20名	総 会	時 間 場 所 参 加 者	9:30～12:00 ～ 昼 食 ～ 13:00～14:00 大展示場 約3,000名
理 事 会	時 間 場 所 参 加 者	14:30～15:30 601大会議室 約100名	記 念 講 演	時 間 場 所 参 加 者	13:00～14:00 大展示場 約3,000名
会 長 会 議	時 間 場 所 参 加 者	16:00～17:30 国際会議場 約500名	エクスカーション（記念講演終了後）		
懇 親 会	時 間 場 所 参 加 者	18:00～19:30 大展示場 約3,000名	日帰りコース（3コース）11月12日(水) 1泊2日コース（7コース）11月12日(水)～13日(木) 2泊3日コース（2コース）11月12日(水)～14日(金)		



おいでませ「松江」



①松江城は町のどこからでも眺められる松江のシンボル。通称「千鳥城」と呼ばれ、築城（1611）以来木造で戦国時代の無骨で重厚な雰囲気を漂わせています。



②月照寺は松江藩主直政（徳川家康の孫）が、生母月照院の菩提を弔うために興したもので直政公の廟はとりわけ美しく、6月には2万本のあじさいが咲きます。



③普門院は堀尾吉晴公により松江城鎮護の祈願所として開山されたもので、中には茶室「観月庵」があり、門前の橋は「小豆とき橋」の伝説が伝えられます。



④明々庵は七代目藩主松平不味公が好みによって建てた茶室で、当初は家老有沢一善の本邸にありましたが、昭和41年、現在の位置に復元され保存されています。



⑤武家屋敷は200年の歳月を経て尚、ほとんど当時の姿を残しています。長屋門をくぐり回遊式庭園を廻ると各部屋を眺めることができ、家具調度品700点もそのまま配置され、当時の武家の生活を垣間見ることができます。



⑥熊野大社は出雲の古社です。往古より出雲の古社です。

# マイクライン



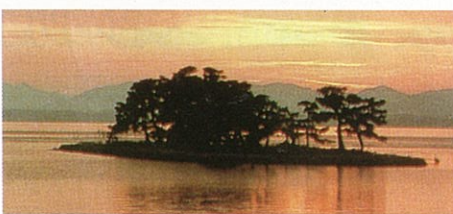
⑫ 菅田庵は日本屈指の茶室として、国の重要文化財の指定を受けており形式にこだわらない松平不昧公の好みが見られる閑静な茶室です。



⑪ 興雲閣は県指定文化財の白亜の木造洋館で、郷土資料の展示がされ、松江郷土館として親しまれています。



⑩ 松江大橋は西に宍道湖、東に大山の眺めが美しい御影石の欄干に擬宝珠（ぎぼうしゅ）を飾った風情のある橋です。南詰めには人柱となった源助という男の供養碑が建てられ、哀しい話も伝えられています。



⑨ 宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島



⑧ 円成寺は慶長12年（1607）ごろ堀尾吉晴が、瑞応寺住職に遠州浜松の大徳寺から招いた春龍和尚の隠棲所として建立。堀尾三代の菩提寺で、寺宝として、木彫りの堀尾忠晴（吉晴の孫）像をはじめ、堀尾家ゆかりの遺品がある。また3代藩主堀尾忠晴の廟所でもある。



社が祀る大国主命の父神、素盞鳴尊を祭神として一ノ宮として国を納めていた由緒ある社です。

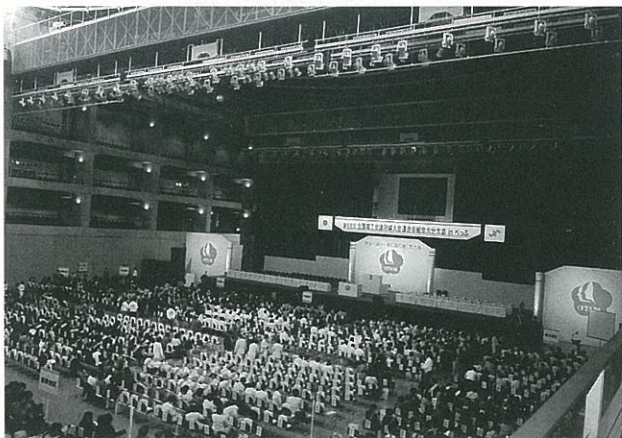


⑦ 神魂神社は、出雲大社に代表される高床式の大社造りの“男造り”に対し、“女造り”と言われ、日本最古の大社造りとして国宝に指定されている神社です。

# 全国大会に参加して

事業委員会 持 田 文 子

初めて全国大会に参加致したのは広島大会でした。それから十数年たちましたが、忙しさにかまけ、数回しか参加出来ませんでしたが、今回別府に参加させて頂き9年11月の松江での全国大会を考え乍らの参加の中で一人一人が今までとは異なった感動を憶えた中にも、大変さをしっかりと、感じとられた事と私は思いました。全国から



3,000人の女性の皆様に胸を張って自慢出来る数々の松江のすばらしさを見て頂くと同時に、一人一人の心のこもったおもてなしが出来ます様、そして皆様に古都松江で心から楽しんで頂けるよう、小さな力が集まって、大きな力になり、すばらしい感動といい汗、いい涙が流せるよう願ってやみません。

# 移動役員会に参加して

事業委員会 中 西 俊 子

婦人会の定例役員会は、通常商工会議所の会議室で開かれておりましたが、今回館外での役員会となりました。

晴天にめぐまれて、平田市島村町、松翠苑にて開催されました。

松翠苑は、大きな旧家を利用して、限られた予約のみのお客様を相手に、心のこもった会席料理を堪能できる素晴らしい料亭でした。

10月9日（水）場所をかえての役員会の議題は全国大会別府大会の参加に関する事、来年の松江大会にむけてのシンボルマークや、記念講演の講師の件についてなどでした。役員会終了後は松翠苑の庭園に感動し、旧家の重厚な造りに目を見張り、帰途は一畑薬師に立ち寄り、本坊書院庭の秋の特別公開を見学し、秋の一畑寺から見下ろす、宍道湖の風景も又、素晴らしいものでした。

全国大会のエクスカーションには、こんな出雲路らしい所も、ぜひ取り入れたら良いのでは、というお話も出ました。

日常の忙しい毎日から開放され気持ちの安らぐ一日でした。



# 会員事業所紹介

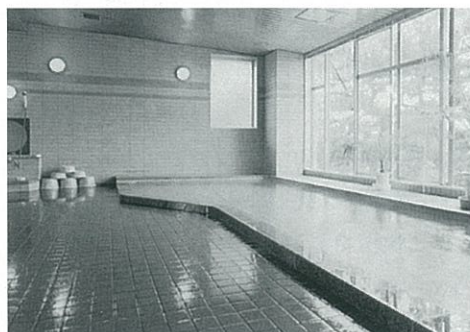
## 松江アーバンホテルグループ

松江アーバンホテル 植田 睦

良き日本の面影を残す美しい水の都・松江の街。出逢いを大切に、あなただけのシーンを演出する松江アーバンホテルグループ。

個性の違う4つの快適スペースが、心地のよい充実足りた時をお届けします。

ご宴会・会議・ご宿泊に是非、ご利用ください。



松江駅前・くびき大橋

**松江アーバンホテル** 1号館  
〒690 松江市朝日町590-3 FAX0852(26)3833  
TEL0852(22)0002

松江駅前・くびき大橋

**松江アーバンホテル** 2号館  
〒690 松江市朝日町590-3 FAX0852(21)6363  
TEL0852(22)0002

宍道湖畔・スカイラウンジ

**松江ニューアーバンホテル** 本館  
〒690 松江市西茶町40-1 FAX0852(23)0018  
TEL0852(23)0002

宍道湖畔・展望温泉

**松江ニューアーバンホテル** 別館  
〒690 松江市西茶町45-2 FAX0852(23)0012  
TEL0852(23)0003



## 袖師窯

袖師窯 尾野 頼江

明治10年開窯、昭和初期より河井寛次郎・浜田庄司、バーナードリーチ諸先生方の指導を受け民芸窯として現在まで日用食器、花器、茶器等製作して居ります。窯元展示場もありますので、お気軽にお越し下さいませ。小泉八雲先生の遺愛の蓮葉皿も製作いたしております。

松江市袖師町3-21  
(日本海テレビビル前) TEL0852-21-3974

社是

よりよき製品を創り

社会に貢献する

中浦食品株式会社 鷓 鷓 啓 子  
創業は徳川時代貞享3年(西暦1686年)でこ  
として311年になります。個人経営から会社経営  
に切り替えて今年が50年になります。これもひ  
とえにお客様、取引先のお力添えによるもので  
感謝しております。

どじょう掬いまんじゅう、冬スズキ姿漬等山  
陰の特産品づくりに力を入れ、全国の人々に喜  
ばれるよう努力しております。



# ”96”在松留学生視察研修交流会に参加して

交流委員会 小 立 美 恵 子

「アッサラーム、アライコム」、「オアライ、コマサラーム」。バングラデッシュ国の、ベンガリ語で「こんにちは」と云う、ご挨拶です。

私も、片言のベンガリ語で、なつかしく、思い出話を致しました。

11月18日に、東急インに於いて、島大に留学されている各国の方を招いて交流会が催され、私達、松江商工会議所婦人会より、5名参加致しました。今年で3年目となりますが、日本側から、40名、留学生、30名余りの方々と共に、お食事をしながら、お国の歌を聞いたり、おしゃべりしたり、楽しい一時を過ごしました。日本食も、とてもおいしいと話されていました。また日本語も、とても上手にお話されており、いっそう親しみを感じました。現在島大に200名余り留学されているそうです。

各国を代表され、日本で学び体験されている、優秀な大学生ばかりで、お話しの中にも、夢があり、意欲を感じることが出来、拍手を送りたい気持ちでいっぱいでした。

松江の良さを、また、日本の良さを学びの中から生かされ、それぞれのお国の発展のために、頑張っ頂きたいと思いました。

先日、私の家に、「皇セイラ・楽ラ」さんと云う、中華人民共和国出身の女子大生の方から、電話があり、12月8日の知名人余芸大会に、「モンゴルのおどりをするので見に来て下さい。」と話され、交流会での一時の出会いを思い出して下さったことに、感激致しました。

私も28年前に、主人と共に、当時は、東パキスタンでしたが、現在は独立して、バングラデッシュへ、農林省より、コロンボプラン、エキスパートとして、農業指導のため、2年間滞在しておりました。今頃のように、国際交流のさ



かんな時代ではなく、治安も悪く、言葉も、生活環境も違い、慣れるまで大変でしたが、現地の皆さんが、とても親切にして下さり、私も片言でも、ベンガリ語でお話し出来るまでになり、「住めば都」と云う程に、わずか2年間でも、楽しかった数々の思い出は、今でも忘れることは出来ません。

現在バングラデッシュより農大生として来県されている、ムッシュドール、ホックさんと、家族ぐるみのお付き合いをしております。奥さんと、5才になる女の子と、法吉町に住んでいますが、子供は、近くの保育所に通って、出雲弁でお友達と元気に遊んでおります。時々我が家に呼んで、お食事をします。お国柄は違っても、友情は変わりません。出会いを大切に、いつまでも変わらぬ、国際交流が出来ます様願うものです。

なお留学生の方達は、家庭生活で必需品が不足していると思いますので、暖房器具とか寝具、家庭用品、パソコンなど、余っている物がありませんでしたら、ゆずってあげて頂きたいと思っております。

## 〈事務局だより〉

平成8年

8月28日 まつえ女性ネットワーク理事会出席(山尾会長)

8月28日 文化講演会(松江法学会共催)～アントニオ・古賀～

10月4日 県商婦連役員会

10月5日 まつえ女性ネットワーク加盟団体交流会(山尾会長外)

11月5日～6日 第28回全国大会(別府)参加(会長外)

11月16日 在松留学生との交流会(会長外)

12月3日 第3回チャリティーダンスパーティ(ホテル一畑)

平成9年

1月6日 市民新年賀会(会長外)

1月22日 全商婦連理事会(東商 山尾会長・事務局)

1月23日 新年会(松江皆美館)

2月1日 まつえ女性ネットワーク“市長と語る会”出席(山尾会長外)

3月16日 まつえ女性ふぉーらむ(県民会館中ホール)